

1969(昭和44)年11月創刊

2023(令和5)年 1月17日(火) 14042号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://homenikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配付料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

民生用電子機器国内出荷11月分

出荷額前年比 4か月連続プラス

JEITA

一般社団法人電子情報技術産業協会(時田隆仁会長)はこのほど、2022年11月の民生用電子機器国内出荷実績を発表した。国内出荷金額は1,184億円、前年同月比105.4%。同比のポイント数は、4月からほぼ80前後の横ばい状態だったが、7月には100に迫り、8月から4か月連続のプラスとなっている。

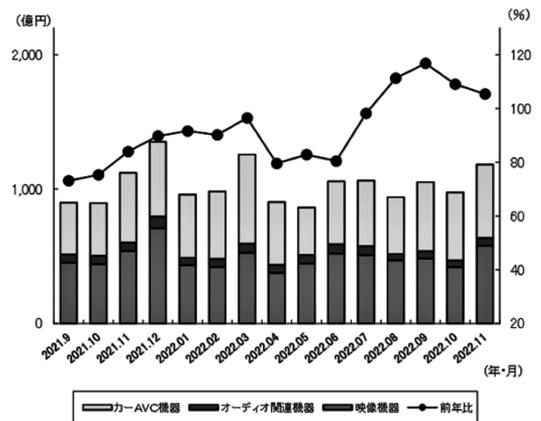
内訳は、映像機器が578億円、同107.0%、オーディオ関連機器は58億円、同93.5%、カーAVC機器547億円、同105.2%となっている。

製品別では、薄型テレビが440千台同93.3%。サイズ別では、29型以下が40千台61.6%、30~39型が83千台85.6%、40~49型118千台87.8%、50型以上199千台113.5%。サイズ別構成比は、29型以下が9.1%、30~39型18.8%、40~49型26.9%、50型以上45.3%だった。

4K(対応)テレビは264千台105.8%で、薄型テレビに占める割合は59.9%。金額は388億円で、薄型の455億円に占める割合は85.3%だった。ハイブリッドキャスト対応テレビは283千台103.9%で、薄型に占める割合は64.2%。有機ELテレビは65千台115.9%、139億円だった。

新4K8K衛星放送対応テレビは278千台、394億円とな

民生用電子機器国内出荷金額推移



一般社団法人電子情報技術産業協会Webサイトから引用

り、数量は薄型の63.0%、金額は86.7%となった。発売開始からの累計は10,593千台。

BDレコーダ/プレーヤーは125千台78.7%、デジタルビデオカメラは17千台152.3%。新4K8K衛星放送対応レコーダは26千台、21億円。発売開始からの累計は1,585千台となった。

システムオーディオは70千台76.8%、スピーカーシステムは56千台74.5%、ラジオ受信機58千台78.8%、ステレオヘッドホン415千台89.3%。

また、カーナビゲーションシステムは388千台96.0%、カーAVメインユニットは243千台89.0%、ETCC2.0(DSRC)対応車載ユニットは117千台116.8%。

2月8日インボイス制度緊急セミナー開催

関西非鉄リサイクル協

関西非鉄リサイクル協同組合(橋本健一郎理事長)は2月8日午後6時30分から、大阪市中央区島之内1のアークホテル大阪心斎橋で「インボイス制度」をテーマにした新春セミナーを開催する。

講師は、税理士法人コモンズ代表社員の税理士、坂本幹雄氏。「令和5年度税制改正を踏まえたインボイス制度緊急セミナー インボイス制度への対応ポイント」をテーマに、古物商特例制度などについて講演する。

セミナー終了後には、大阪メトロ・長堀橋駅周辺会場(詳細は後日連絡)で懇親会も開く。

社会の発展とその未来に
テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしいKYOWAのエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

<http://www.kyowadensen.co.jp/>

協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO.,LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番地

TEL (0729) 91-0818(代) FAX (0729) 91-4470

一般社団法人日本アルミニウム協会

会長 水口 誠

2023年頭所感 (要旨)



昨年を振り返りますと、コロナ禍の余波が続くなか、2月に始まったウクライナ紛争の問題は依然として収束の兆しが見えず、半導体不足や部品供給不足などサプライチェーンの混乱も続いております。加えて、電力や原油、重油、LNGなど原燃料価格

の上昇、物流費や副資材費の値上がりなど、アルミ産業の基盤を揺るがす事態も長期化しております。

こうしたなか、政府が目ざしている新しい資本主義の実現に向けて、適切な価格転嫁により、高騰している原材料・エネルギー等のコストをサプライチェーン全体で負担することが課題となっております。当協会では会員企業の取引先での価格転嫁が円滑に進められるよう、昨年、会員企業を対象として、アルミ製品製造に係るコスト及び価格転嫁の状況に関するアンケート調査を実施しました。原燃料、物流・梱包、副原料等のコストについて、2021年と比較して2022年はどれだけ変化したかを調査したものです。いずれのコストも2022年は上昇しているものの、十分に価格転嫁できていない実態が明らかになりました。今年も状況を見ながら適正な価格転嫁に関するフォローをしていきたいと考えています。

脱炭素に向けた取り組みも進めてまいります。昨年1月に「アルミニウム圧延業界の2050年カーボンニュートラルに向けたビジョン」を策定し、展伸材製造時の国内CO2排出量実質ゼロを目ざすことを公表しました。その目標達成に向けて、重点的に取り組んでいるところです。

その一つが資源循環リサイクルの推進です。アルミはリサイクル利用することにより、エネルギー使用量とCO2排出量を大きく削減することができます。「アルミ循環委員会」傘下に立ち上げた「自動車」、「アルミ缶」、「スクラップ見通し」の3分科会で課題を明らかにするとともに、課題解決の仕組み作りを進めているところです。昨年5月にはアルミスクラップ回収量の見通しを公表し、一つの成果を出しました。

自動車で利用されるアルミについて、リサイクル材の利用も進めていきたいと考えています。本来であれば「Car to Car」が理想ですが、回収量やコストを考えると現実的ではありません。一方、アルミサッシは基本組成が自動車向けアルミと同じで、回収ルートも確立されているため量も確保しやすく、自動車材として使える優れたリサイクル材です。このため、「Sash to Car」が実現可能であると考え、自動車分科会で鋭意検討しているところです。

また、国内で回収されたUBC（使用済みアルミ缶）の輸出数量は、統計を取り始めた2015年度は約4万8千ト

ンだったのが、2021年度は約8万4千トンと70%以上も増加しており、昨今の円安の影響もあり、今後も増加することが懸念されます。回収されるアルミは、貴重なマグネシウム、シリコン等を含んだ合金であり、再生利用することでこうした貴重な金属も回収することができず。資源の有効活用およびリサイクル推進の観点から、国内で循環させることが重要であり、自治体も含め多くの人の理解を得るよう努力してまいります。

さらに、イノベーションにも取り組んでいます。リサイクルアルミの使用比率を上げていくために鍵となる「不純物低減」と「不純物無害化」の技術開発に向けて、2021年8月から国家プロジェクトとして、自動車メーカー、大学、国の研究所、素材メーカーと共同で研究開発を進めているところです。

また、従来からの協会事業の3本柱であります「新規需要の開拓」、「人材育成」及び「広報活動の強化」も引き続き行ってまいります。

このうち「人材育成」については、会員企業の技術者・研究者を対象とした「中核人材育成講座」をオンラインで開催しました。材料、溶解鋳造、熱処理、加工の4コースとも、遠隔地からも多くの受講者があり、好評のうちに終了致しました。本年はコロナ感染の状況を見ながらですが、できるだけ対面での開催を実現したいと考えております。また、大学への研究助成を通じ、業界の将来を担う人材の発掘と育成にも引き続き注力し、会員企業の技術者・研究者による大学での出張講義も継続してまいります。

「広報活動の強化」につきましては、ツイッターを活用した積極的な情報発信を行っております。消費者に身近なアルミ缶をはじめとして、自動車、鉄道車両などの最新情報を定期的に更新しており、フォロワー数も増加しています。これからは、広くアルミを知ってもらう広報だけではなく、より分かりやすく具体的な情報発信を行っていきたくと考えております。

SDGsやカーボンニュートラルの実現に向けて環境問題やリサイクルがクローズアップされるなか、アルミニウムは省エネルギー、CO2排出抑制に貢献できる素材です。優れたリサイクル性を有するアルミニウムの特性が注目され、他素材からもアルミ製品に切り替える動きが出つつあります。これから、資源循環経済やDX（Digital Transformation）、GX（Green Transformation）等に必要な素材となります。こうした動きを好機と捉え、「社会が抱える課題にソリューションを提供できる協会」として、多くの皆様にお役に立てるよう種々の活動に取り組んでまいります。

非鉄金属全般・金属リサイクル
新棒コロ・砲金・銅洋

株式会社 高田商店

代表取締役 高田 晋 善

〒544-0001 大阪市生野区新今里 7-10-26

Tel.06-6753-1643 Fax06-6753-4545

全国鍍金工業組合連合会

会長 苅宿 充久

令和5年の新春を迎えて（年頭所感要旨）



繰り返されるコロナ感染は昨年末には第8波が押し寄せ、新年を迎えても一向に収束の兆しが見えません。専門家の見解では1月中旬がピークとも言われています。コロナ感染も今年で4年目となりますが、収束を待ってというよりコロナ禍の中で我々の生活・経営をどう展開していくかが問われています。

このようにコロナ感染の波が繰り返される中、昨年2月にはロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。ほぼ1年となりますが平和の目はたっていない。コロナ感染に加えウクライナ侵攻は私達の生活に暗い影を落としています。経済停滞から長らく低迷していた物価が上昇し、食料品や原油など原材料の高騰を招いています。また、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクも懸念されます。

全鍍連が毎月発表する全国組合員の生産額調査によると昨年4月から9月までの実績は前年度対比1.1%増とほぼ前年並みの数字となりました。インフレや円安も一時からみると落ち着きをとり戻しつつあり、景気回復も期待されますが、それでもめっき業界の先行きは一進一退の状況が続くそうです。

昨年は安倍元首相への銃撃事件、その国葬をめぐる世論の分断、さらに旧統一教会と政治家の関係など政治の世界では暗い話題に終始した1年ともいえます。しかし、11月カタールで開催されたワールドカップサッカーは連日注目を集め、日本チームの活躍に全国民が興奮の渦に

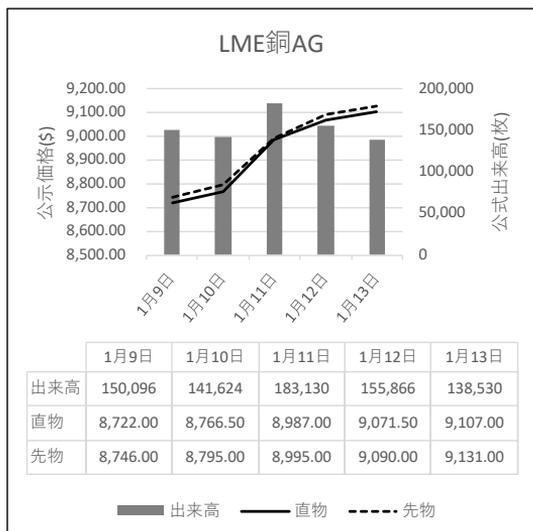
巻き込まれました。残念ながら目標の決勝トーナメント、ベスト8はなりませんでしたが、我が国を取り巻く閉鎖感を吹き飛ばすべく国中が大いに沸き上がりました。アメリカ大リーグ、投手・打者2刀流での大谷選手の活躍、国内では「村神様」と流行語大賞を獲得した3冠王の村上選手などスポーツ界では明るい話題が続きました。周りを見渡せばとかく沈みがちになりますが、このような時だからこそ明るい希望をもって厳しい状況を乗り越える意思と努力が求められます。

昨年開催されました全鍍連全国大会は「共に前へ一人と技術が生み出す持続可能なものづくり」をテーマに掲げました。ロシアによるウクライナ侵攻以降、サプライチェーンの混乱、原材料価格の高騰が続き、めっき業界においても多くの困難が立ちはだかっています。こうした試練を乗り越え、共に繁栄していくため、全国ネットワークの強みを生かし組合員同士のつながりを深めること、排水規制問題・土壌汚染対策などの環境課題に対し環境保全・社会的責務を全組合員で果たしていくこと、めっき技能の研鑽に邁進し、人と技術が生み出す持続可能なものづくりを目指すことの方針が採択されました。個々の組合員企業の皆様、各工業組合の皆様と共に諸課題に真摯に取り組んで参ります。

コロナ感染やロシアによるウクライナ侵攻を収束させることは私達個々の力でなし得るものではありません。しかし、これらがもたらす厳しい状況を克服し、企業経営や生活を発展させることは私達自身の努力で可能とも言えます。ワールドカップサッカーで見た日本チームのように最後まで諦めない、強い意思を持ち続けたいと思います。逆境下を反転させ、飛躍の年となるよう努力を積み重ねましょう。

今年も、経済産業省、厚生労働省をはじめ表面技術協会・日本表面処理機材工業会・賛助会員企業、そして全ての工業組合、組合員事業所皆様のご支援・ご協力を賜り、全鍍連の活動を推進する所存です。

LME公式値週間推移 1月9日～1月13日(現地)



※ 1月13日の出来高は速報値です。



錫建値は400円引き上げの 5,000円

1月の月内平均価格は4,860円

三菱マテリアルは16日、高純度錫地金(99.99%=フォーナイン)の相対価格を400円引き上げの5,000円にすると発表、同日より適用した。1月の月内平均価格は4,860円。直近6か月の価格推移は次の通り(円/キロ、カッコ内平均)。

2022年

8月…	4,800(1)	平均4,800.0
9月…	4,700(1) 4,450(7)	平均4,500.0
10月…	4,450(3) 4,300(21) 4,200(26)	平均4,380.0
11月…	4,100(1) 4,450(14)	平均4,310.0
12月…	4,600(1) 4,800(14) 4,600(23)	平均4,670.0

2023年

1月…	4,600(4) 5,000(16)	平均4,860.0
-----	--------------------	-----------

故銅市況

前週末14日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の9,071.50ドルより35.50ドル高の9,107.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,169.05ドルより0.50ドル安の9,168.55ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,090.00ドルより41.00ドル高の9,131.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,187.00ドルより1.50ドル安の9,185.50ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)銅相場の3月限は、前営業日の419.65セントより1.95セント高の421.60セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の3月限は、前営業日の6万8,660元より180元高の6万8,840元。

週明け16日の東京為替市場TTSレートは、前週末の130.28円より1.36円の円高ドル安、1ドル=128.92円。14日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,107.00ドル。この値と14日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の121万9,000円より7,000円安の121万2,000円。この日、電気銅建値は123万円に据え置かれた。

為替動向

13日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0020ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0820ドル~1.0830ドルで推移した。米国のインフレが鈍化するなかFRBが利上げペースを抑制するとの観測を背景に主要な通貨に対しドルが売られ対ユーロでもドル売りが優勢になった。英ポンドも対ドルで上昇。同じく0.0060ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.2210ドル~1.2220ドルで推移した。この日発表された英国の2022年11月GDPが市場予想の前月比0.2%減に反し0.1%増となった。英経済が想定より底堅く推移しているとしてポンド買いドル売りが優勢になった。

13日のニューヨーク外国為替市場で円相場は続伸した。前日と比べ1.45円の円高ドル安、1ドル=127.80円~127.90円で取引を終えた。インフレ減速を背景にFRBは31日からのFOMCで利上げ幅を前回の0.5%から0.25%に縮小するとの見方が広がっており円は一時127.46円と約7か月ぶりの高値水準を付けた。また17日からの日銀金融政策決定会合でも政策の修正が見込まれ一時日本の長期金利は日銀の許容変動幅の上限を超えた。

週明け16日早朝の東京外国為替市場で円相場は上昇した。8時30分、前週末17時と比べ0.40円の円高ドル安、1ドル=127.97円~127.99円で推移した。日銀が17日からの金融政策決定会合で金融緩和策を再度修正するとの見方が広がっており、FRBの金融引き締め鈍化観測もあって円買いドル売りが優勢になった。円は対ユーロでも上昇。同じく0.75円の円高ユーロ安、1ユーロ=138.51円~138.55円。

減摩合金・各種ハンダ 鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

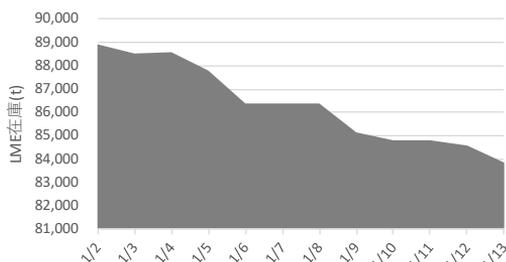
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)

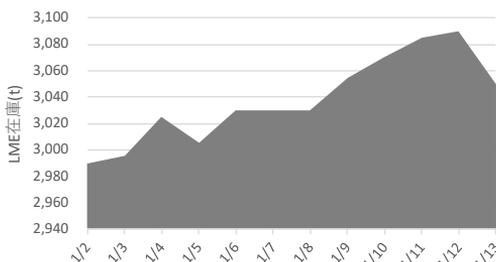


LME認定倉庫在庫量推移 1月2日~1月13日(現地)

銅



錫





LME銅相場は続伸 直物終値は9,168.55ドル
 急騰一服も需要増とドル安で買い意欲が強い状況は継続
 COMEX銅相場も続伸 SHFE銅相場も続伸
 LME非鉄相場は総じて堅調 亜鉛の直物終値は3,348.25ドル



14日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月13日入電の9,071.50ドルより35.50ドル高の9,107.00ドル。5営業日の続伸で8.90%高。この週8.90%の上伸。1月に入って8.58%の上伸。3か月物の前場売値は、1月13日入電の9,090.00ドルより41.00ドル高の9,131.00ドル。5営業日の続伸で8.87%高。この週8.87%の上伸。1月に入って8.70%の上伸。LME公認倉庫の現地1月12日銅在庫は、前日の8万4,550トンより700トン減の8万3,850トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、1月限が、1月13日入電の418.60セントより2.15セント高の420.75セント。7営業日の続伸で12.52%高。この週7.65%の上伸。1月に入って10.56%の上伸。2月限は、1月13日入電の419.00セントより2.05セント高の421.05セント。7営業日の続伸で12.52%高。この週7.64%の上伸。1月に入って10.51%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、1月限が、1月13日入電の6万8,510元より80元高の6万8,590元。6営業日の続伸で6.87%高。この週5.25%の上伸。1月に入って3.64%の上伸。2月限は、1月13日入電の6万8,600元より130元高の6万8,730元。6営業日の続伸で7.21%高。この週5.50%の上伸。1月に入って3.95%の上伸。

錫も続伸

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月13日入電の2万7,475.00ドルより1,055.00ドル高の2万8,530.00ドル。3営業日の続伸で11.45%高。この週12.99%の上伸。1月に入って15.04%の上伸。3か月物の前場売値は、1月13日入電の2万7,360.00ドルより1,290.00ドル高の2万8,650.00ドル。3営業日の続伸で11.46%高。この週13.24%の上伸。1月に入って15.06%の上伸。LME公認倉庫の現地1月12日錫在庫は、前日の3,090トンより40トン減の3,050トン。

鉛は反発

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月13日入電の2,155.00ドルより60.00ドル高の2,215.00ドル。4営業日ぶりの反発で2.78%高。この週0.89%の下落。1月に入って5.14%の下落。3か月物の前場売値は、1月13日入電の2,142.00ドルより53.00ドル高の2,195.00ドル。4営業日ぶりの反発で2.47%高。この週0.05%の下落。1月に入って3.77%の下落。LME公認倉庫の現地1月12日鉛在庫は、前

日の2万1,550トンよりトン減の2万1,550トン。

亜鉛は続伸

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月13日入電の3,215.00ドルより86.50ドル高の3,301.50ドル。2営業日の続伸で3.97%高。この週10.27%の上伸。1月に入って9.14%の上伸。3か月物の前場売値は、1月13日入電の3,200.00ドルより81.50ドル高の3,281.50ドル。2営業日の続伸で3.71%高。この週10.04%の上伸。1月に入って9.75%の上伸。LME公認倉庫の現地1月12日亜鉛在庫は、前日の2万1,125トンより150トン減の2万0,975トン。

アルミは反発 アルミ合金はまちまち 北米特殊は横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月13日入電の2,447.00ドルより64.00ドル高の2,511.00ドル。反発して2.62%高。この週11.97%の上伸。1月に入って6.38%の上伸。3か月物の前場売値は、1月13日入電の2,476.00ドルより70.00ドル高の2,546.00ドル。反発して2.83%高。この週11.91%の上伸。1月に入って6.44%の上伸。LME公認倉庫の現地1月12日アルミ在庫は、前日の40万8,875トンより万5,625トン減の40万3,250トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月13日入電の2,091.00ドルより1.00ドル安の2,090.00ドル。下落して0.05%安。この週0.19%の下落。1月に入って1.55%の下落。3か月物の前場売値は、1月13日入電より横ばいの2,150.00ドル。この週横ばい。1月に入って1.15%の下落。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月13日入電より横ばいの2,060.00ドル。この週2.18%の上伸。1月に入って1.90%の下落。3か月物の前場売値は、1月13日入電より横ばいの2,146.00ドル。この週1.71%の上伸。1月に入って2.19%の上伸。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月13日入電の2万6,475.00ドルより700.00ドル高の2万7,175.00ドル。3営業日ぶりの反発で2.64%高。この週1.06%の下落。1月に入って10.68%の下落。3か月物の前場売値は、1月13日入電の2万6,750.00ドルより650.00ドル高の2万7,400.00ドル。3営業日ぶりの反発で2.43%高。この週0.99%の下落。1月に入って10.31%の下落。LME公認倉庫の現地1月12日ニッケル在庫は、前日の5万3,418トンより156トン減の5万3,262トン。

LME公示価格(US\$)／1月13日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,107.00	28,530.00	2,215.00	3,301.50	2,511.00	2,090.00	2,060.00	27,175.00
	前営業日比	35.50	1,055.00	60.00	86.50	64.00	▲ 1.00	0.00	700.00
	週間増減比	8.90%	12.99%	▲ 0.89%	10.27%	11.97%	▲ 0.19%	2.18%	▲ 1.06%
先物	公示価格	9,131.00	28,650.00	2,195.00	3,281.50	2,546.00	2,150.00	2,146.00	27,400.00
	前営業日比	41.00	1,290.00	53.00	81.50	70.00	0.00	0.00	650.00
	週間増減比	8.87%	13.24%	▲ 0.05%	10.04%	11.91%	0.00%	1.71%	▲ 0.99%

海外非鉄金属相場

(1月14日 入電・現地 1月13日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NY コメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 1月限, 2月限, 3月限, 4月限, 5月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート 諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格(地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2410.0 (10.0), 2410.9 (27.6).

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅繰くず(セント/ポンド). Values: 256.35, 353.35.

ロンドン相場(ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), etc. Values: 1907.15 (24.60), 11300, 3.40, etc.

KLTM錫(MYR/KG, 出来高トン)

Table with columns: (13日), (16日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

LME在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

上海在庫(トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: (1/13現在), 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

LMEプレマーケット(ドル)

Table with columns: 先物気配, (1/16), (3:00AM現地). Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 68590, 18405, 23955, 15265, 227800.

※16日のKLTMは入電がありません。

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Values: 9107, 28530, 2215, 3302, 2511, 27175, etc.

非鉄金属製品相場

(1月16日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	1530	1460	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F	
建築用0.3ミリ	1580	1510	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6	56~58
銅大板2×1×2	1660	1660	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0	99.5~102
銅管(ベース)	1720	1660	鉛板1.5ミリ	590	590	3C×1.6	104~107
水道用管(m当たり)13ミリ	1630	1570	鉛線3ミリ	465	465	3C×2.0	152~155
銅棒25ミリ	1440	1430	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	1495	1475	アルミ箔0.007ミリ	1115	1135	1.6mm	31.9~33.9
銅線0.9ミリ	1520	1490	〃 小板1ミリ	750	765	5.5sq	87~92.5
銅帯6×50	1450	1430	〃 大板1ミリ	730	755	14sq	217~231
銅平角線	1720	1660	〃 5052板	785	805	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	1265	1255	〃 6061板	1315	1335	600V 3C×38	1654~1758
〃 0.3ミリ	1295	1285	〃 2017板	1240	1365	600V 3C×60	2547~2707
黄銅大板2×1×2	1415	1435	〃 線3ミリ	730	750	600V 3C×100	4279~4548
黄銅管	1775	1735	〃 快削棒50ミリ	950	970	6kV 3C×38	2653~2815
復水器用黄銅管	1745	1705	〃 合金棒50ミリ(17S)	935	950	6kV 3C×60	3705~3931
黄銅棒快削25ミリ	1025	1060	〃 合金棒50ミリ(56S)	890	910	CVV (関西-関東)	
六角棒	1055	1090	貴金属(一般小口向け)			3C×2	129-132
四角棒	1085	1120	白金(グラム)		◆4929	4C×2	173-177
鍛造用	1065	1100	パラジウム(グラム)		◆8343	6C×2	246-252
ネーバル	1165	1200	金(グラム)		◎8743	7C×2	281-288
高力	1165	1200	銀(キログラム)		◎112970	合金鉄 11月輸入単価(CIF)	
黄銅線6ミリ	1440	1435	レアメタル輸入価格	11月通関(CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有	243
黄銅平角線ロール仕上	1640	1645	金属ケイ素(99.99%未満)	491		〃 その他	266.4
黄銅条1.5×100	1260	1270	モリブデン酸化物	3917		フェロシリコン55%以上	324
リン青銅板一般用1.0ミリ	2630	2820	タンタル	75327		フェロクロム4%以上炭素含有	290.8
〃 バネ用0.3ミリ	2860	3060	マグネシウム	516		フェロモリブデン純分60%以上	4557
リン青銅棒25ミリ	2800	3010	コバルト	7571		フェロバナジウム	3591
リン青銅線3ミリ	3100	3310	インジウム	28021		フェロニッケル33%未満	767.1
洋白板一般用1.0ミリ	3870	4020				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	4030	4190					

減摩合金	1月16日改定
(500kg以上、大口価格)	
1種	4320
2種	4200
3種	4070
4種	3580
5種	3430
7種	1265
8種	1110
9種	970

銅合金地金	1月5日発表
(標準価格)	大阪
BC 1種	1225
2種	1535
3種	1615
6種	1335
7種	1435
YBSC 3種	1095
LBC 3種	1565
PBC 2種	1635



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(1月16日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		36,000 ~ 39,000(1)	
非鉄原料 (炉前材)	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場		
1トン以上外税持込			高値	安値	高値	安値		
1号銅線	1098	1093	電気銅 ◆1189	◆1184	◆1191	◆1186	山元建値 電気銅 1230(11)	金 7,910(16)
2号銅線	1056	—	電気亜鉛 463	457	463	457	() 実施日 電気鉛 360(11)	銀 101,450(16)
上銅(新切)	1069	1063	蒸留亜鉛 451	445	451	445	電気亜鉛 475(13)	錫(99.99%) 5,000(16)
雑ナゲット	927	923	再生ダイカスト亜鉛2種 386	380	386	380		
並銅	1011	992	再生亜鉛(98%) 338	332	338	332		
下銅	992	964	電気鉛 341	338	341	338		
銅削粉	986	967	再生鉛1号 323	313	317	312		
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号 328	324	322	318		
新切黄銅セバ	808	819	錫1号 ◎3950	◎3900	◎3950	◎3900		
コーベル	776	777	アンチモン 1650	1600	1650	1600		
黄銅棒地	774	765	ニッケル(メッキ用) ◆3650	◆3600	◆3650	◆3600		
黄銅削粉	768	761	コバルト 6500	6200	6500	6200		
並黄銅	730	695	セレニウム 3100	2900	3100	2900		
黄銅ラジエター	617	605	ビスマス 1500	1400	1500	1400		
交叉ラジエター	678	648	カドミウム 600	550	600	550		
黄銅鑄物	735	—	マグネシウム合金 470	450	470	450		
山送り(55%)	375	—	アルミ地金99.70% ◎369	◎365	◎371	◎367		
上青銅鑄物	857	—	アルミ二次地金99% 328	323	328	323		
並青銅鑄物	855	831	〃 90% 313	308	313	308		
上青銅鑄物削粉	850	—	アルミ二次合金ADC12 437	432	440	435		
並青銅鑄物削粉	840	816	鑄物用C2BS 462	457	464	459		
新切リン青銅(仲間)	—	1073	青銅合金地金3種 1605	1595	1680	1670		
〃(鑄物)	971	—	〃 6種 1315	1305	1350	1340		
リン青銅削粉	889	869	ハンダ錫60% 2910	2870	2930	2900		
新切洋白(電子材)	901	876	〃 50% 2525	2475	2545	2515		
新切亜鉛	234	234	〃 40% 2205	2145	2160	2130		
ダイカストくず	199	199	減摩合金2種 4155	4125	4160	4130		
亜鉛ドロス	178	189	〃 4種 3535	3510	3540	3510		
上鉛	150	148	〃 7種 1210	1160	1210	1160		
電池素鉛ケース込	30	30	ステンレス・特金 18-8ステンレス 新切		90	85		
活字鉛	135	132	〃 ダライ粉		75	70		
新切アルミ1級	230	224	高耐食ステンレスSUS316		250	250		
新切サッシ1級	230	222	耐熱ステンレスSUS310		450	450		
新切合金1級	215	202	13クローム 新切		23	24		
機械鑄物1級	170	182	ハイス 9種		255	255		
ビス付サッシP	201	197						
合金削粉P	115	126						
込ガラP	108	115						
カン・バラ	163	154						

非鉄金属材料相場面

PW:nikkin202301